

日下部四郎太 しよぶた 物理學者、理學博士。明治八年五月五日山形縣東村山郡金井村生れ、大正十二年七月一日歿（八五—一九二四）。第（高）等學校を（終）つて、明治二十二年東京帝國大學理科大學物理學科卒。四十年歐洲留學、北極圏旅行を（し）て歸朝、四十四年東北帝大教授となる。大正二十二年「岩石の彈性」の研究により帝國學士號賞を受賞。また、學業の傍ら「信仰佛刹」へ「信仰物理」を稱し、科學的見地から各地の土俗迷信の解明に當つた。

著書に『北極探検記』全一冊（前編・明治四十四年八月十二日博文館）、『通俗講義 火及火災』（大正二年六月四日内田老鶴園）、『信仰人行脚』（六十六年版・昭和四年一月）二十日大日本雄辯會講談社）、『信仰物理 黃道吉日』（大正十二年七月）二十日岩波書店）等。評傳は、津金仙大郎著『日下部四郎太—信仰物理學者』（昭和四十八年二月）日中央書院）がある。

